

テキスト化を通して見たイマカン像 —1982年に録音されたイマカン「ムドリ・モルゲン」—

于曉飛

はじめに

1982年にイマカン名歌手と言われた葛徳勝が語り謡った「ムドリ・モルゲン」の録音テープのコピーを当時調査に参加した曉寒の遺族のご好意により、入手できた。この録音テープは全8巻(各巻60分)からなるが、テープの2つ片面の録音レベルが低く聞き取れない。今回は、最初の1巻を聞き取り、ホジェン語のテキストを作成した。このテキストをここに示す。テキスト化に際しては、筆者が提案した表記文字を使用した。さらにこの作業を通して見た当時のイマカン像について考察する。

1. 三つの「ムドリ・モルゲン」

「ムドリ・モルゲン」と題する物語またはイマカンで、発表されているものは5編ある。しかし、元となる語り謡いは3つである。

①「木杜里」 1930年凌純声と商章孫の2人が依兰(イラン)から抚远(フユアン)まで行き、3ヶ月掛けてホジェン族を調査したとき、採集したものである。物語を語り謡い、漢語に通訳し、記録し、張耆孫が整理した。謡の部分は記されていない。物語を誰が、何語で語ったか記載されていない。[凌純声 1934年 pp.382-401]

②「木都里莫日根」 吳連貴が1980年10月に語り謡い漢語で説明した。この録音に基づいて尤志賢が1981年4月に通訳し、黄任遠が整理した。1部吳連貴の中国語の説明で補充した。[尤志賢 1981年 p.404-417]

③「木都里莫日根」 尤志賢は、②の漢語のテキストをホジェン語に翻訳し国際音標文字で表記したもので、元のホジェン語の語り謡いと異なる。単語対応して漢語も記されている。[尤志賢編訳 1989年 pp.463-504]

④「牟都里莫日根」 1982年4月、方行、王士媛、曉寒らが葛徳勝を県招待所に招き、語り謡いを録音した。葛徳勝は初め物語全編のあらすじを漢語で説明し、ホジェン語で1段語り謡い、すぐ漢語で通訳したが、途中からホジェン語の語り謡いのみにして、録音した。全部録音するまで半月要した。曉寒は翻訳し始めたが、前半翻訳で中断した。この語り謡いは、①の内容にムドリ・モルゲンの父ムハンダ・モルゲンのことを最初の段に付け加えたものとなっている。[黒龍江省民間文芸家協会黒龍江分会 1990年 pp.107-190]

⑤「木都力莫日根」 ④の録音テープを1988年尤志賢が翻訳して、王士媛が修正し、1990年黒竜江民間文学21に発表、1997年伊瑪堪(上)に再掲載された。[黒龍江省民間文芸家協会黒龍江分会 1990年 pp.49-221] [黒龍江省民間文芸家協会 1997年 pp.200-312]

2. ムドリ・モルゲンのあらすじ

2-1 凌純声の「ムドリ・モルゲン」

ここで、最も古い凌純声が採取した物語「ムドリ・モルゲン」のあらすじを記す。

①ソングリの南岸にホンジャン・ホトンという町があり、1本の河が町の周りを曲がりソングリに流れ込む。今は住む人はいないが、20年前、ムハダ・ハンが街を作り、人口20万人であった。ムハダは、敵のツカシュウ、ツカニウ、ツカチュウに捕まり鉄の箱に入れられ、川底に沈められ、妻チャルバニ・ダドは、捕まり奴隷にされた。

②妻には2人の子、男ムドリ、ムドリの姉ムカタニがおり、捕まる直前に、生後間もないムドリを鏡の中に隠し、西の壁に掛け、姉を釜の中に隠した。敵が去った後、姉が出てきて、1人で生活する。姉が17歳のとき、家に1人の少年が入ってきて求婚したが、断った。少年が姉を拉致しようとしたとき、鏡が飛んできて少年を打ち、

その鏡からムドリが出てきて、その少年と戦い殺した。この少年は、ムドリの父の敵ツカシュウの甥であった。彼は伯父からムカダニの話聞いていて、ムカタニを嫁にしようと16人の部下をつれて、船で来たのだ。ムドリは部下全てを降伏させた。ムドリは、この船に乗り、三江を経てアムールを西へ進んで、トウシェン・ホトンに着いた。城主は7人兄弟マインである。長兄が、サハリン岸に火事があり西に燃え広がる夢をみて、貴人がくることを予知した。ムドリが来ると、7人は歓待し、兄弟の妹ナリホニ・ダドをムドリの嫁にした。

③ムドリは更に西へ進むとき、長兄は白馬をムドリに贈り、姉ムカタニと妻ナリホニ・ダドはコリになり、ムドリに従った。彼女らが前方を探り、前方のラカウ・ホトンに敵がいることを教えた。ムドリはラカウと戦い、ラカウの弟を殺したが、ラカウはジュウリュウ・ホトンに逃げた。伯父がその城主である。ムドリはラカウ村民にホンジャン・ホトンに移住するように命じた。船を用意しているとき、ムドリの鏡が震えて不吉を告げた。ムドリは更に西へ行くと、ラカウと伯父と伯父の子が山で待ち伏せをしており、彼らの矢で射殺された。

④北海地方にゼベンニ・ダドというシャーマンがおり、陰界へ行く能力を持っていた。北海地方の城主バユエンベイの父の1周忌に魂を送るため、ゼベンニは犬ぞりにのり、陰界へ行行ったとき、途中ムドリの魂を偶然捕まえその中に入れて、現世に戻った。このお陰でムドリは生き返った。ムドリはバユエンベイの街に行行ったとき、宴会でゼベンニに出会い、陰界で会った人であることが分かり、ゼベンニに礼いい、夫婦になった。

⑤ムドリはジュウリュウ・ホトンについた。ラカウとジュウリュウ・マファと息子は、死んだと思っていたムドリが来たことを聞き、大変驚いた。ムドリはラカウと戦って殺し、ジュウリュウの街を征服した。

⑥ムドリは更に西へ進んだ。1件の家に入ると、老夫婦マファとママがおり、マファは病気であった。病気を治すため、南山にいる猪をシャーマン神に捧げる必要があった。ムドリはその猪を捕まえ、神に捧げると、マファの病は治った。マファは娘をムドリの嫁にした。

⑦ツカシュウの街まで20里のとき、ツカシュウは仲間を集めムドリを迎え討った。しかし、ムドリが勝ち、街に入ると、白髪の老女が、ムドリを来たかたとたずたので、自分の母と分かった。ムドリは、住民をホンジャン・ホトンに連れて行き、自分はハンとなった。ゼンベンニは5男3女、その他の妻は6男5女をもうけた。ムドリの名は鳴り響き、三川六国が貢ぎにきた。

2-2 葛徳勝のムドリ・モルゲンと凌純声の採集した物語の比較

(a) 凌純声の採集した物語の最初の部分約150字が、葛徳勝のムドリ・モルゲンでは、ムドリの父の部分が詳細になり、17頁に増えた。ムドリの父の移住先の付近には、富錦から3里離れた下吉里があり、そこで葛徳勝は生まれた。彼が子供の頃各地を転々と移住した経験をイマカンに盛り込んでいると思われる。[葛徳勝1987年]

(b) ムドリ・モルゲンのテキスト化した部分に出てくる地名と人名

凌純声、尤志賢、曉寒の各訳とテキスト化したものと比較すると、下表ようになる。

(c)

凌純声	尤志賢(葛徳勝)	曉寒(葛徳勝)	註(テキストの中)
ソニアリ(松花江)	黒竜江(アムール)	黒竜江(アムール)	村の近くの河(サハリン:アムールの別名)
ホンジャン・ホトン	ソンジヤン	ソンジヤン	ムドリの父母の村
ムハダ	ムハスン	ムハンダ	ムドリの父(ムハンダ、カダム)
ツカシュ	シカチュ	ツカシュ	仇の3兄弟(シカチュ)
ツカニユ	チュカチュ	ツカチュ	仇の3兄弟(チュカチュ)
ツカチュ	ジカチュ	ツカニユ	仇の3兄弟(ジカチュ)
チャルバニ・ダド	チャドン・ダド	チャルバ	ムドリの母(チャフエン・ダド)
ムドリ	ムドリ	ムドリ	主人公(ムドリ)
ムカタニ	ムカジン	ムカタ	参考:ムドリの姉(現テキストにない)
	ムドリの父の部分が17頁に増えた。物語の最後に、12頁分増	③のラカウの弟が殺された部分まで	

尤志賢は葛徳勝が使用する名を訳に用いている。ただし、ムドリの父の名前が、ムハンダともカダムとも呼ばれているのをムハスンに統一している。

曉寒は葛徳勝が使用する名前を用いずに、凌純声の訳に出てくる名前を自分の訳に用いている。また、漢訳文章の中で、50個のホジェン語の単語を用い、それらに対して注釈をつけている。

曉寒の訳は後半がないが、凌純声と尤志賢の訳を全体に比較すると、出てくる名前の表記が少し異なるものの、粗筋は同じである。このことから、葛徳勝はムドリ・モルゲンの粗筋を凌純声の物語から得ていると思われる。それに自分の経験からえたことを挿入したり、詳細描写に使用している。尤金良が凌純声の「葛門主格格（ガメンジュ・ガガ）」の前部に新しい部分を追加し、カンタ・モルゲンを謡ったのと同じ状況である。(c) ムドリ・モルゲンの最後に、12 頁分増やし、狩りの話や、姉の結婚、7 人のマインの国への再訪などを語っている。葛徳勝は8才のときから父と狩りにでかけたので、狩りが得意で、イマカンの中で狩りの描写が詳しい。葛徳勝が増やした部分は、自分の経験に基づいた語り謡であったと思われる。狩猟に関する語彙が多く、ホジェン族の生活習慣などが良く分かる。

2-3 呉連貴のムドリ・モルゲンのあらすじ

話は全く異なる。弟ムドリ、姉ムカニで、ムドリの婿選び挑戦の話である。

3. テキスト化とそれを通しての考察

テキスト化の作業は、(1)テープを聞き取り、表音文字で記録した。(2)不明な単語や内容は、漢語訳を参照して判断した。(3)2007年3月にホジェン族の60代の女性尤文蘭に聞いてもらい、教えてもらった。彼女は大意は理解できたが、単語対応には説明できない部分もあった。

テキストの表記、形式、脚注は次の通りである。

① テキストの表記法

		両唇音	歯茎音	歯茎音	後部歯茎音	そり舌音	軟口蓋音
破裂音	無気	b	d	s	j	j	g
破擦音	有気	p	t		c	c	k
鼻音		m	n				ng
摩擦音		f		s	s sy	sy	x
流音			l			r	

②テキストの形式:ホジェン語表記は、筆者が提案した表記法を用いて書いた。第1行目にホジェン語の文章、第2行目に日本語の訳をつけた。

③脚注:本文のホジェン語を四角で囲い番号をつけ、ページ下に注釈を入れた。

葛徳勝の語り謡いから次のように考えられる。

葛徳勝は

(1)漢語のテキストを作っていた。または、頭の中で漢語の物語を作成していた。

(2)イマカンで漢語で語っていた(葛徳勝の子の話)。それは、恐らく若いホジェン族の人はホジェン語が十分に理解できなくなっていたためと思われる。

(3)調査のとき、ホジェン語に訳して語った。このため、多くの漢語の表現が残っている。

ホジェン語には、漢語の影響を受けた単語としては、「招」「炒」「呼嚕」「掏」「磕头」「湊集」「笑」「揺」「湊合」「要和泥」などあり、漢語の言い回しとして「还」「再」「那个」「要招客」「光顾」「那么那就」「正

午」「挑」などがある。これらは、ホジェン語として漢語の影響を受けている外来語、漢語の言い回しなどである。(テキストの脚注を参照)

尤志賢は、採録時には立ち会っておらず、語り謡の誤りや不明な点を補って録音テープから翻訳した。曉寒は、ホジェンの風俗習慣やイマカンの筋をしり、ホジェン族の風俗習慣を説明しながら、漢語でよい文章になるように翻訳整理および創作した。

イマカン「ムドリ・モルゲン」の記録と発表

説唱者	不明	葛徳勝			吳連貴	
説唱年	1930 年	1982 年 4 月			1980 年 10 月	
翻訳・記録者	凌純声 商章孫	尤志賢	曉寒	于曉飛	尤志賢	尤志賢
整理者	張耆孫	王士媛	曉寒		黃任遠	
題名	木杜里	木都力莫日根	牟都里莫日根	ムドリ・モルゲン	木都里莫日根	木都里莫日根
言語	漢語	漢語	漢語	ホジェン語	漢語	ホジェン語
発表紙	松花江下流 的赫哲族	黒竜江民間文 学 21	黒竜江民間文 学 21		黒竜江民間文 学 2	赫哲族伊瑪堪 選
発表年	1934 年	1990 年	1990 年	2007 年	1981 年	1989 年
註		葛徳勝がムドリ の父の話を入	語り謡と説明を 加えた文。 全体の前半	ホジェン語から 直接テキスト 化。全体の 1/8	左 2 つのものと は異なった筋	左の漢語からホ ジェン語に翻訳

4. イマカンはホジェン語で語られたか？

黒龍江省民間文芸家協会の「伊瑪堪」上と下の掲載されている各イマカンの付記があり、採録当時の様子が記されている。これによると、文献上に「イマカン」という語が初めて登場する「安徒莫日根（アントウ・モルゲン）」は、1955 年尤志賢が吳進才の語り謡いを聞いて記憶を元に筆録して、再び吳進才の語り謡いと比較し、翻訳を吳進才に確認して出来上がった。1957 年の調査報告書に報告された唯一のイマカンであり、1930 年以降初めて記録された物語である。

①1962 年卢明が語り謡いし翻訳した「夏留秋莫日根（シャルチュウ・モルゲン）」は、イマカンの語りの部分は漢語でおこない、謡はホジェン語でおこなった。謡の段の直後に漢語で通訳した。1960 年代にホジェン語のイマカンは普段演じられなくなったようだ。

②1962 年女性謡手毕张氏が「満格木莫日根（マンガム・モルゲン）」語り謡ったものを隋书今が文字で採録した。語り謡ったのは漢語かホジェン語か不明である。

③1979 年尤樹林が語り謡った「马尔托莫日根（マルトウ・モルゲン）」は、8 歳のとき尤貴連が語り謡った物を聞き覚えたもので、60 年後に再現したが、忘れた部分も多く、思い出しながら補った。これはホジェン語であろう。

④1980 年吳連貴が語り謡った「木竹林莫日根（ムジュリン・モルゲン）」は、語りが漢語で、謡いはホジェン語であった。

⑤1950 年代から漢語教育の普及により、ホジェン語が使用されなくなり、漢語が日常語となっていた。ホジェン語を十分理解できない聴き手には漢語を使用してイマカンを語り謡ったと思われる。文化保存のため研究者対象に特別ホジェン語で語り謡ったのである。同席した黃任遠によると、漢語で記された物語のメモが存在した。

⑥1980 年代に葛徳勝は、「希尔达鲁莫日根（シルダル・モルゲン）」「沙伦莫日根（シャルン・モルゲン）」「吴呼萨莫日根（ウフサ・モルゲン）」「満都莫日根（マンドウ・モルゲン）」「香叟莫日根（シ

ヤンソウ・モルゲン)」「木都力莫日根 (ムドリ・モルゲン)」「阿格弟莫日根 (アガデ・モルゲン)」を語り謡っている。2006 年わたくしが調査したとき、葛徳勝の長男葛忠厚は、「父は、普段イマカン語り謡うときは、漢語で謡った。」と話した。

1980 年 9 月中国民協が赫哲族伊瑪堪抢救小組を組織しイマカンの調査をおこなったとき、彼らは、語り手をホテルに呼び寄せ、集中的に数日に渡り採録した。その録音テープを実際にわたしが聴いたところ、調査形式は概ね、最初に漢語であらすじを説明してから、その後葛徳勝ら謡手が一段ホジェン語で語り、彼が漢語で内容を説明し、研究者数人がその場で記録し、次の 1 段に進んでいる。1982 年葛徳勝が語り謡ったイマカン「ムドリ・モルゲン」に対して、上述のように 2 人の研究者尤志賢と曉寒が別々の漢訳したものが黒竜江民間文学 21 に発表されている。翻訳整理のとき補完され、注釈の文が挿入されている。尤志賢のものは、語り謡いに沿った翻訳となっているが、曉寒の訳は、語った本人の通訳した原文でなく、多くの説明的文章が補われている。

同様に多くのイマカンは、録音を元に、通訳翻訳され漢語に記録され、漢語として文体が整えられているので、ホジェン語からの直訳とは異なる。尤志賢は出来上がった漢語のテキストをホジェン語に直訳して、国際音標文字やピンインをもちいてホジェン語の文を記したイマカンが 4 編ある。[尤志賢編訳 1989 年]

5. 漢族の民間芸能「大鼓」の影響

ホジェン族の周りに多くの漢族が住んでいるため、漢族の語り謡う民間芸能の影響をうけている。凌純声は、採集した物語について『他們的説法和漢人的唱大鼓書一樣，說了一段，唱了一段，而後再說。男子唱的歌大都是故事中的一段，從説書人那裡學來的。』（訳：彼らの語り方は漢人が演じる大鼓書と同じである、1 段語ると、1 段謡う、そして再び語る。男の歌は大部分物語の 1 段で、説書人（大鼓芸人）を真似たものである）[凌純声 p.146]と記している。しかし、エウエンキ族の「摩蘇昆（マスケン）」、満族の「徳布徳林（ダブダリン）」など、説唱文芸を持つ民族が周囲にいたので、元々語り謡う形式は存在したと思われる。

呉連貴は、子供のころ書館で芸能を 1 日中聞き、帰りの船の中で演じたということから、彼らのイマカンの語り謡い方も大きな影響を受ける状況にあった。葛徳勝兄弟も、漢語で語り謡った。ホジェン族の居住した村の周辺には漢族の街が多くあり、「謡い」・「語る」伝統的民衆演芸である「大鼓」や「説書」が非常に盛んである。ホジェン族の人々はイマカンの謡い手を含めこれを好んでいた。

葛徳勝の長男葛忠厚は、「父は 1979 年頃、退職してからイマカンを語り始めた。父は若い頃、説書を聞くが大好きで、家から二三里の富錦県にある数軒の書館（説書が演じられる演芸所）に週 1 回程度通っていた。叔父の葛長勝も行った。皆漢語で、叔父は岳家将など沢山の古書（古典）を演義できた。父は歴史ものが好きで、説書を聞き、本を読んだ。」といっている。

呉連貴の長男呉明新（1937 年同江生れ）は、「父呉連貴は字が読めないが、イマカンを覚えていた。」「37-58 年街津口に住んでいた。そこには 50 世帯位住み、朝鮮族、漢族、満族、回族、ロシア人がおり、8 割がホジェン族で、共通語は漢語であった。村には何もなく、買い物は同江に行く。同江には書館があった。」といっている（2006 年 8 月筆者調査）、イマカンの有名な謡い手がこのような民間演芸を好んでいた。

イマカンは口承で伝わる文芸であるが、一面、話芸としての性格をもち、そこに民間芸能であるこれら「大鼓」・「説書」との共通性を有する。

イマカンの題材には、次のような種類に区別できるようだ。

①古くから口承で伝えられたもの。

②ホジェン風俗を伝える物語を漢語で伝えたもの。凌純声が採録した物語を読み、子供の頃聞き親しんだイマカンを再現した。尤良金のカンタ・モルゲンは、そのものである。葛徳勝の 7 編のイマカンの内 4 編（マンドウ・モルゲン、シャンソウ・モルゲン、シルダル・モルゲン、ムドリ・モルゲン）もこの本に題材を得ている。黄任遠は、葛徳勝に凌純声の本のコピーを渡したと言っている。

③複数の物語を結合したもの。「葛門主格格（ガメンジュ・ガガ）（坎特莫日根カンタ・モルゲン）」は、ホジェン族や満族のシャーマンの物語と漢族の狐仙物語と満族の英雄金兀術伝説の3つを結合したものである。金兀術は説書の演目「岳飛」の主要登場人物である。「莫土格格モトウ・ガガ」は、狐が化けたあらしい娘を妻にしたが、つらく当たったため、逃げられ、戻ってもらうために娘が出した難題を解決するモルゲンの話して、漢族の狐仙や嫦娥の話と似ている。これらは漢族の語り、語られる性格の民衆の物語が素材となって形成されたイマカンである。

④満州語で伝えられたもの。「一新萨满（イーシン・シャーマン）」は、満語の「尼山萨满」本を見て語り語いわれたものである。

まとめ

ここでは、1980年代に採録されたイマカン「ムドリ・モルゲン」の録音テープをもとに、最初の部分をテキスト化して、気がついたことをもとに考察した。ホジェン族のイマカンは周囲の漢族の文化面の影響を当然ながら大きく受けている。また、漢語教育の普及と狩猟採集によらない経済基盤の変化がホジェン語を衰退させ、ホジェン族民族の華「イマカン」を風前の灯にしてしまった。物語の内容としては、記録され後世にのこるが、ホジェン語の表現や風俗習慣が忘れ去られようとしている。私は、このようなホジェン族の文化を少しでも記録したい。

最後に、テキスト化に際しご協力をいただいた尤文蘭に感謝します。

この研究は、日本大学学術研究助成金一般研究（個人研究）「北方民族の比較研究（イマカン“ムドリ・モルゲン”のテキスト化）」に基づいたものです。

文献

- 凌純声 1934年『松花江下流の赫哲族』国立中央研究院語言研究所
劉忠波 1981年『赫哲族社会歴史調査』中国社会科学院民族研究所
黒龍江省民間文芸家協会 1997年『伊瑪堪』上、1998年『伊瑪堪』下 黒龍江人民出版社
尤志賢編訳 1989年2月『赫哲族伊瑪堪選』 黒龍江省民族研究所
尤志賢 1990年「木都力莫日根」pp.1-106 『黒龍江省民間文学』第21集
中国民間文芸研究会黒龍江分会 業経黒龍江省出版社
曉寒 1990年「牟都里莫日根」pp.107-190 『黒龍江省民間文学』第21集
中国民間文芸研究会黒龍江分会 業経黒龍江省出版社
葛徳勝 1987年「从吞声哭到放声歌—我的生平—」pp.222-289
『黒龍江民間文学』第20集 中国民間文芸研究会黒龍江分会 業経黒龍江省出版社
徐昌翰・黄任遠 1991年『赫哲族文学』中国少数民族文学史叢書 北方文芸出版社
于曉飛 2004年「カンタ・モルゲン」pp.80-243 『ユーラシア諸民族の叙事詩研究（2）
—テキストの梗概と解説—』、千葉大学退学院社会文化科学研究科
黒龍江省編輯組 1986年：「＜民族問題5種叢書＞赫哲族社会歴史調査」
徐昌翰・黄任遠 1991年「赫哲族文学」中国少数民族文学史叢書 北方文芸出版社
井口淳子 1999年「中国北方農村の口承文化—語り物の書・テキスト・パフォーマンス」
風響社

ムドリ・モルゲン

[cassette tape 1A 始]

=====

(1) alang degde bi-cin¹

アラーン 始まり始まり

ei Saxalin manme-xo xuli kocire koci-ni eme wulken kadile de bi-cin
サハリン 江の 先 湾曲した場所に 山が 立ちはだかる

(jap-kere-duni) ei manme jap-kere-duni eme site yoxon bi-cin
江の 岸に 小さな 村があった。

ei yoxon-dule juan-ge jo bardi ei juan-ge jo-dulani tame ju saman bi-ren
村に 10戸が住み、 10戸に ただ 2人の シャーマンがいる。

ju saman eiji xaxa jake oxute²-xuli-mi oxun-xule bi-ren sagdi³
二人のシャーマンの 男は 20歳 過ぎて 20歳 過ぎて ある。

ei ju saman edi-asen julu edini asen⁴ Muxade morgen asen-ni Cafen dedu
この2人は 夫婦の 夫は ムハンダ・モルゲン 妻は チャドン・ダド。

ei ju se-nike ei gelen-gulun-me berci-re imaxa wa-keci-re
2人は 同じ年で 村人を 手伝い 魚を とり

kam-jake-gen buyon-we wa-keci-re demciki demciki⁵ bardi bi-cin
いろいろな 獣を 狩り このように 暮らしていた。

eme inin de bi-cin abka ai-nisi bana-toloniki tuinemede ei morgen nage⁶
ある日 天気がよく 風がない。 そして モルゲンは あの

(sion de koke)⁷ sion de kam-jake aia bale-me de ai asen-ti(ki) xesu-sie⁸
「太陽が 程よく照り 天気が よい。」 妻に 言う

buti ei esi ami-ni teine-mai te-rgi buti tomaki-sai⁹
「私たち 後で 休もう。 起きて 私たちは 朝 (再)

si tako-le-mi jap-kere-duni imaxa-we wa-keci xai¹⁰ yicike-mi xuli bi ai wurken-dule
貴女は片付けて 川岸に 魚を とりに 行き、 私も 山に狩りに

xulu yicimi de ai-nemi buti jog-du ai-ji arki omi-le jefu-le teine-mai
行ってみよう。 そして 私たち 家で よく 酒を飲み、 食べて、 休もう。」

tadamu de bi-cin aim aiai sikese doliu-ni bi-cin edi-asen de Mujiange Mujiange
そして よい 夜に なると 夫妻は ムジアンガ (霊)

gulun kam-jake esi mafa-sele de saule¹¹-le ei buyun ei ti-naka ulse-me ker-ci-ni
達 など (霊) 老人たちを 招き 獣 などの 肉を 切り

¹ alang degde bi-cin 語りの段の最初に言われる言葉、「始まり始まり」の意。

² oxute 不明：20は orin、30は gosin である。

³ sagdi 長大：構文的に漢語的表現

⁴ asen 妻：ここには意味として不要

⁵ demciki 不明

⁶ nage 那个 (漢語)

⁷ sion de koke 太陽がない：いい間違いで、直後訂正している。

⁸ xesu-sie：3人称ならば xesu-ini？

⁹ sai 再 (漢語) 漢語単語の音が以下に同じものが出てきた場合は、2回目以降下線で示す。

¹⁰ xai 還 (漢語)

¹¹ saule 招 (漢語) +le で動詞化

¹²caule¹²-mi aci-xen aci-xen aci-xen bi-ci-ni ya xolu-xolu¹³-dani dudule-xen bi-cin
 焼いて 調理した。 ぐうぐうと 寝そべり
 xolu-xolu-dani dudule-xen ai morgen de bi-cini ta-du dudule afune-xe bi-cin
 ぐうぐうと 寝そべった。 モルゲンはその場に 寝そべり 眠りかけた。
 aufen-keci-ki tui-nemi de bi-cin ei tuleya piasulen-du¹⁴ ne-ki eme isikili tolo
 眠りかけたとき そのとき そとから ピンと音がし 小さなトロ神
 biaxon tolo biaxon tolo bi-cini tui-nami de dirgan bi-cin dirigan de edu siandu-du
 月のトロ神 月のトロ神の 声がした。 声は 耳の側で
¹⁵siao siao¹⁵ xesumi xesu-mi eme-xe bi-cin ai ai Muxade morgen xodaci-mi xodaci-mi
 小さく 話し 語る。 「ムハダ・モルゲン」と呼びかけて。

(1) (謡)

xelila xelilali xelila ga xelei xeli laji xeli ga xaxel¹⁶

adi ini yoxon-du bardi-u-xen aiji yoxon-nani aiji cikin
 永く 村に 育てられ この村に 大変
 sagdi ne-kuno-re Muxande nani den morgen aiji-ne dordi-ro
 育まれた ムハンダ モルゲン よく 聞きなさい。
 eiji yoxon juan-ge jo em taun nai koke ayiji badu
 この村は 十戸 百人も満たない人々が ここに
 aiji bixan-we wa-keci-re, aiji yimaxa-we wa-keci-re ne-mi tui bardi-re
 狩りをし 魚をとり 暮らしてきたが
 usin-me tari-le ba-de ti-ba anci kolo¹⁷
 畑を 耕す 場所が ない。
 mindule gisun-mingge dordi-ro ge
 私の 話を 聞け。
 ei de Saxalin manme julu-xerge-duni solki-enen sonji
 サハリン江の 南岸に 西行きを 選ぶと
 eiji ne Songali manme-dulani bi-re kolo
 松花江に ある。
 emedan emedan sagdi-ni yoxon-ni bi-re kolo
 一つの 大きな 村が ある。
 xelilaji xelila

ai nemi jule-ne nai-duleni dami e aiji-ni yoxon bi-re kolo
 南の 土地に 広く よい 村が ある。
 susule-mi suixa-na eme nai-keci aiji nai-keci gugu-da-ren gugu-daxan
 茫々と 蒿草が 人の丈 人の丈の 高さである。
 ti-baleni ai juan-ba jo-we ti-ba-leni xulu-kini
 その場所に 十戸の人を連れて そこへ 行くと

¹² caule 炒 (漢語) +le で動詞化

¹³ xolu 呼嚕 (漢語) いびきの擬音詞

¹⁴ piasulen ピンという音 (擬音)

¹⁵ siao siao 小小 (漢語)

¹⁶ 謡いの初めや途中に挿入されるリフレイ。謡い手により、異なる。

¹⁷ kolo 謡いの語尾につける。葛の独特な語。

ta-du usin-me tari-le yimaxa-we wa-keci-le eiji nemi
 そこで畑を 耕し 魚を とり そして
 aini bixan ai bixan nemi xuli-re ba-de marxon kolo ge xeli
 狩に 狩に 行く 場所が多くある。
 minira gisu-mi dordi-ki ele-jin ba-tiki ta gulun-ji xerbuke-ro
 私の 話を 聞いたら すぐ そこへ 村人を つれて行きなさい。
 xelilaji

ele-kitele tixale-mi ene-kini mene-kisi ene-jie
 そこへ 喜んで行くならば 自分で 行きなさい
 tixale-mi ene-sien da-ki xule-xen mene edu bi-ke
 喜んで 行かない 残り 自分でここにいなさい。
 xelila xelile kelila

dordi-xen aijile minji aijimi
 聞きましたが よく 私の言うことを よく
 Muxande morgen aiji ne-mi xesu-me doldi-sie
 ムハンダ・モルゲン よく 言うことを分かりましたか。
 eci-xeni-siela
 覚ええましたか。
 xelila xeligai xeale

(謡終)

=====

(2) alang degde bi-cin

ei Muxande morgen bi-cin ei ome-sie ome-sie¹⁸ au a afune-ini da-xan de dolubu-ni
 ムハンダ モルゲンは うとうとと 寝ている とき 夜中に
 torki-xen ei torki-xen ba te-rgi-mi aiji icici-ni ei mini ei jo ai tolo seun
 夢をみた、 夢をみた。 さめて起き上がり 見ると 家の トロ 神が
 tame niu-re bini-rcin aimin tule-siki eme-ini torki-we Cafun dordi-nia
 でてきたのだ。 すぐ 台所に 行き 夢を チャフエンに 聞かせた。
 tuinemi e-du tuinemi afene de bicin-du jukucim jukucim¹⁹ ba-tule gialen-du
 「今 ここで 眠っていたら とんとんと 音がし 台所から
 xodale-mi de bi-cin xesu-sia bi esi ka xolu-xolu-dule afene-duni ai
 呼びかける声がして 言った。 ぐうぐうと 寝ているとき
 buti tolo seun mi niu-le yole buti aiji jake-we xe ai gulun baite-we xesu-xei
 我が家の トロ神が 出てきた 私に よいことを 人たちのことを 話した。
 si tixale tixale da-sien ei Cafun dedu aiji doldi xoi-nemi
 「 賛成ですか 反対ですか」 チャドン・ダドは 聞いて「どうして、
 tixala-sie eji juan-ge jo usin tari ba de koke imaxa-we wa-keci-u
 反対しますか。 10 戸が 耕す 畑が ない。 魚を とり
 ba ei ei kam-jake bixan xuli-rgi-ki edu ai jefu-re xai xoni xesu bi-si
 色々な 狩りをし、 ここで生活すると ある者が 言うが

¹⁸ ome-sie ome-sie 擬音詞？

¹⁹ jukucim jukucim 擬音詞？

soluko ai aite kam-jake jefuku ke yade bake-syi gangu-lexen²⁰
 とうもろこしなど 色々な 食料が どうしても採れない。 ただ
 imaxa-bardiu de aci-sien xaisi gulune-ki aya tuine-si etuke si
 魚で生活するだけは よくない やはり 移るのがよい それならすぐあなたが
yaosi tixale-kisia tomaki inin ei gelegulun yaku arman²¹ sauli-mai
 もし 望むなら 明日 人々を 皆 すぐ 招こう。
 buti dou ulse-de marxon imaxade marxon aiji ulse arki-we barki-le gelungulun-me
 私たち 肉を 沢山 魚を 沢山 肉 酒を 用意し 人々を
sauli buti aiji asecimi²² ta-du xesu-mi bicie mai tuinemi asen de tixale da-xan
 招き 私たち 飲み そこで話をしましょう。」 妻は 賛成した

=====

(3) alang degde bi-cin

ayi morgen de mafe-sele amilede gia inin de ei arki-we de berki-mi ulse imaxa-we
 モルゲン は ムジャンガ老人に従い 翌日 酒を 用意し 肉 魚を
 de berki-mi berki-mi de bi-cin gelungulun te juang-ge jo ba tui-nami gelungulun yao
 用意し 用意した。 人々 十 戸の 人々を
saukanen²³-du sauli-nisi sauli-le ta tadu bai jakon jo ji dei yoxon ei jo-dulani temi
 宴席に 招いた。 招き そこに 全 戸の 村 一つの部屋 に
 tete-sien de tule-sike-du tule gialen-du dere tuki-mi de bi-cin ulse-we imaxa-we
 座ることができず 外の 台所に 机を 並べ 肉を 魚を
 de kam-jake eude-duleni tuki-mi ta-du tuki-mi ba-du tokon tokon tuki-mi
 色々なものを こちらに 並べ あちらに 並べ 真ん中に 並べ
 jakon dere-we de marxon tuki-mi bi-cin tui tuki-mi mergen-du ayi mergen de
 八 席に 多く 並べた。 こうして 並べて モルゲンは モルゲンは
 gelungulun de yangelci-mi akici-mi akici-mi de gelungulu yicikici yicikici-mi
 人々に おすすめ 飲んで 飲んでと 人々は 互いに 見合い
 xaxale xaxa de yiketene-mi xasu-mi agdene-mi bi-cin
 ハハ ハハと 笑い 話し 楽しむ

(2) (謡)

xelilali xelila xelilali xelilaka xeli lalixeli

ai nai-ni duxa xacin de bi-cini

ホジェンの親戚の者達よ

ti-gulun langle²⁴ ne-mi bardu-ni axandu bi-cini

皆さん 近所で 生活する 兄弟たちよ

jako-nen mafe-rsele bi-cini mama-sele de bi-cini aiji nemi en dordi-ro

皆 老人たちよ 老婆たちよ おく 聞いてください

xeli

²⁰ gangu-lexen 光顾(汉语): ただ一のみを考える)

²¹ arman すぐ

²² asecimi 飲む(方言)

²³ yao saukanen 要招客(漢語) 客を招く。

²⁴ langle 近所で

dutu de bi-cini ai	donguluge-ni	dordi-ro
--------------------	--------------	----------

耳が遠い人は よく耳をほじって 聞いてください。

kongu de bi-cini	kololuge na-mi	dordi-ro ge ²⁵
------------------	----------------	---------------------------

耳が聞こえない人も だまって 聞いてください
xeli naixeli

esi-xoro bi-cine ²⁶

今

kolo ba-nu eine ba-le sauli-le gisun-le omi-le
ここに 招き 話をし 酒を飲む
arki-keci-le nenine omi-so edune
酒をのみたい ここで
em baite bi-ren-kolon
よい事が ある。
buti-ne mafe-sele mama-sele gese xelbe-kele-mi ya gese ene-mi
私達は 老人 老婆 共に 連れて ゆく 共に 行く。
ainen barte-we xoni eni xoni xesu-kisi xoni daxa-le kolon
この事に 誰か 意見を言い 誰か 意見に従うと言ってください
xeli nani xeli

minila goni-mi u da-kini
私は 思うことは
aini

nanje naje ²⁷

 mini-nani jog-dui bi-ren kolon
それでは 私が 家にいたとき
einen sakana-ni Mujiange seun xesu-xen
昨夜(暗い) ムジアンガ 霊が 話した。
aine ba-tiki-nani xuli-mi juluxerge
好いところへ 行き 南へ下り
Saxalin mangme dau-mi Usuli einen Songali manme-we solki ene-mi
サハリン江を 渡り ウスリと ソンガリ江を 西へ 行く
ta-du ene-ni eme ene-ni
そこに行く
eme na eme yoxon gasin em nanio yoxon bi-ren kolon ge
その地に 一つの部落が ホジェン部落がある。
xeli nani xeli

ta-dule bi-cini nai-nio-nen darmi yoxon kolon
そこに ホジェンの人が 広い 村がある。
susule-mi suixa-ni eme nai-keci-ne gugude nemi u da-xan kolo ge
茫々と 蓬が 人位 高く 茂っている。
xelina xeli

²⁵ dutu de bi-cini ai donguluge-ni dordi-ro と kongu de bi-cini tololuge na-mi dordi-ro ge 2 句の音が対になっている。カンタ・モルゲンにも出てきている。

²⁶ esi-xoro bi-cine 「今は」「ところで」など、alang と同様な語

²⁷ nanje naje 那么那就(漢語) それでは

ti-nanioni ba-leni yisa-deki usin-ni marxon
 そのホジェンの土地に 着くと 畑が 多くあり
 yimaxa-we wa-keci-le ba de nemi marxon kolon
 魚を とる 場所も 多くある。
 bixan na-ni xuli-i wulken-du nemi
 狩りに 行く 山や
 ei nemi deyi sele de marxon kolo ge
 森などが 多くある。
 xeli nani xeli

tadule ai xepke nemi bardi-ni gulun de marxon kolon
 そこは 至るところ 住む 人が 多くいる。
 e-duni eme jo ta-dune ju jo
 そこに 1 戸が ここに 2 戸
 ta-duni tu sunjia jo juan jo xepke bi-ren
 あそこに 5 戸が 10 戸と 至るところある。
 ti-gule embadu sauli-be embadu xoni bardi-ki nemi ukia ai kolon
 彼らを 共に 招き 共に どんなに 暮すことは よいことか。
 xeli nani xeli

xelila xelilen xelila

mafa-rsele mama-rsele axandu duxa-xoci-sele age de usala²⁸
 老人 老婆 兄弟 親戚 兄 ウザーラ
 dordi-ni ajige tixale daki-ni min-ju nemi gese gulu-ene-so
 聞いて よいと賛成ならば 私と 共に 行こう。
 tixale-sien dakini e-duleni tuta-so ge
 賛成でないならば ここに 留りなさい。
 xeli nani xeli

(謡終)

=====

(4) alang degde bi-cin

ai morgen de bi-cini ei teni-dun jali-mi odi-cini gese eme nanio eme tadule
 モルゲン やっと 謡い おわると 一緒に ホジェン人 そこにいた
 eme Mujiange²⁹ mafe de bi-cini ti dordi-ki ili-mi de bi-cin ei morgen de bi-cin
 長老が それを聞いて 立ち上がった。 モルゲン を
 ei morgen-me jorci-mi jorci-mi ei Cafen dedu jorci-mi jorci-mi ba xaxa-de xaxa bai
 モルゲンを 指差し チャフエン・ダドを指差し ハハ ハハと
 ikte-nemi ba xesu-mei ene-xe bi-cin
 笑い 言い 謡う。

(3) (謡)

xelila xelilani xelilage xeli xeli

²⁸ usala ホジェン族の代表的な姓。現在は「呉」

²⁹ Mujiange ここでは村の長老の意味。ムジャンガという名の霊は前出。

eu-duni neni mergen tuluki nemi mergan Muxande tara-mi morgen
ここの モルゲン あちらの モルゲン ムハンダ モルゲン
edi-asen-ni edi-asen-ni esi-nani dordi-ro oso ge
夫妻 夫妻 いま 聞いてください
xeli nani xeli

si-ra bi-cini isikuli-ki na-le orin eni-keci da-xasi
あなたは 小さい時から 20 年も 経った
ai nemi ba-du tui-nemi bardi-si seun-si mannge kolon
よく ここで 大きくなり 貴方の霊は 強い
morgen-ko wa-keci kusun nami mannge kolon
モルゲンの狩の 力は 強い
imaxa wa-keci kusun-de mannge kolon
魚を 取る 能力 すごい
xeli nani xeni

sini nanio-we aisi-nemi xesu-xen-si ekeci bi-si nemi barti-ne
貴方はホジェン人を 良く世話し このように 生活し
ulugon bardi eiji nemi bardi-kolon ei ne orin eni keci da-xan-si
皆幸せに 生活し 好い 生活をしてこの 20 年位 経ち
munge mete-rsien de bi-cini
忘れることができない。
erdui de bi-cini munu-we ui-nemi berci-mi jefu-le titi-le
今までは 私たちを このように 助け 食べ、 着て、
gese nemi titi-mi gese nemi tui jefu-mi e-keci yi bardi-ule kolon ge
一緒に 着る 一緒に 食べて このように 生活した。
xeni nanixeli

bu-xolo bi-cini ei emeken de tuta-rsien-ki-mi uda-xaren
私たちは 一人 も 留まらないことにした。
munu nemi gese nemi ti-bale gese xelbe-mi
私たちを 共に その場所へ 共に 連れて行き
ta-duleni aiji imaxa-we wa-keci-mi
そこで 魚を 取り
buyun-me nemi buyun-me wa-keci-mi
けものを けものを 狩り
usin tari-mi gese bardi-ki ukia ai ele ge
畑を耕し 共に 暮らせば どんなに よいことか。
xeli neni xeli

xuli de ene-ren gisun-we min-tiki xesu-so
行くと 命令を 私に 命じてください。
bu-xolo bi-cini xodun-ji berk-keci-u ene-le
私達は すぐに 用意して 行く。
xalingge-we ate-le temteken-me barke-mi
荷物を 積む 船を 用意して
tule-ba-kin ene- kolo ge
そこへ 行く。

xeli leni xeli

(謡終)

=====

(5) alang degde bi-cini

ei morgen Muxande ai ai Muxande-ji Cafen dedu-ji ei edi-asen de bi-cin gelengulun
ムハンダ・モルゲン は ムハンダと チャフェン・ダドと夫婦の意見に 人々が
yake tixale-mi gisu-mi da-xani goni-le ta-dule de ikte-mi agdene-de bi-le bi-cini
皆 賛成と 言うのを聞いて 心から 笑い 喜んだ
ei Cafen dadu de ei mafe-sele mama-sele de xodaci-mi xesu-mi ene-xe bi-cin
チャフェン・ダドは 老人や老婆たちに 大声で呼びかけて言い 謡う。

(4) (謡)

xelila xelila xelilage xeli nani xeli

esi-xono bi-cini

今

bi-nia ause morgen-i ause nemi edi nemi Muxade morgen-me
私の 義夫のモルゲン義夫 夫 ムハダ・モルゲンが
tuinemi xesu-xe meni
話した ことに

gelengulun yaku-ne tixale-mi xuli-so ge
人々は 皆 賛成して 行く
xe xeli nanixeli

tuna-kini bi-cini ele-neni xodun ene-aiko
そう決まったからここから すぐ 出発しよう
tomaki nemi duni ai esi ene-kolon
翌朝になったら すぐ 出発しよう
yuka-we jake-we tui-nami ai berki-mi
鍋 などを 準備し
xodun-ji berki-mi ai nemi jaka-we aiji
すぐ 用意し よい 物を
temteken-me berki-so kiauli-du ya
船を 用意せよ。 櫂をこいで
buti-ji eu Saxalke manme ai nami dau-re xulu-le kolo ge
我らと サハリン江を 渡り 行こう。
xeli neni xeli

ei inini julun-ni temteken-ku gulun
今日から 船を持つ人たちは
xalingge dule-nemi ne nemi berki-so
荷物を そこへのせ 用意しろ
temteken-ni kokan bixan aiji nemi bixan ne-ba bixan-me xuli-gulun
船を 持たない 荒野で 荒野で 狩をしている人々は

temteken-ni kokan dakini gese nemi berci-ni
 船が なければ 共に 助け合いなさい。
 xodun-ji butin-ji arki-we solge
 今 私たちと 酒を 料理を食べよう。
 xeli nani xeli

esi-xono bi-cini
 今は
 gelengulu aiji-nemi jefu-so aiji-nemi omi-u-soro ge
 村人よ よく 食べ よく 飲みなさい
 xeli

esi-xono bi-cini
 ai-nemi kiauli-du ya buti-nani xuli-duni
 一生懸命 漕いで 我らは 行くとき
 aite-nemi jake-we aji-nemi du tao-le
 たくさん 物を たくさん 積んで
 yako nemi xelbe-mi xuli-mai ge
 全部 持って 行こう
 xeli nani xeli

(謡終)

=====

(6) alang degde bi-cin

ejige-du³⁰ gelengulu jefu-ni jefu-le arki omi arki omi-le bi-cin ba agdene-mi ene-ba
 台所で 人々は 食べに 食べ 酒を飲み 酒を飲み 楽しんでいる。
 isikuli gulun de bi-cin xurku-mi xurkune-mi ikte-mi iktene-re agdene-mi de
 子供たちは 跳びまわり跳びまわり 笑いに笑い 楽しみ、
 mafe-sele bi-cin mama-sele xoni de bi-cin mergen-sele bi-cin yako soktu-midu
 老人たち 老婆たちの ある者や モルゲン達は、 皆 酔うほどに
 omi bi-cin tuinemi de agdene-mi ikte-re ba yako bein jog-dule ene temteken
 飲んでいる。 楽しんで 笑い 皆 家へ 帰る。 船を
 ba kokan da-kini gese berci gulun bi-cin da-kini baide xalingge-we gese berci-mi
 持たないものは 一緒に 手助け人で 荷物を 一緒に 手助けし
 ulse-we yimaxe de guru-bin guru-bile xalingge guru-bin guru-bile de berci
 肉や 魚を ぐるぐる巻きにして 荷物を ぐるぐる巻きにするのを手助ける。
 bete kiaule-ya-me yaku berki-mi bi-cin tuinemi bi-cini asikte ai
 私たちは 櫂などを 全て 用意する。 若い

Kadame³¹ morgen yame de berki temteken-du kiaule-ini **gai** tou jake tore-ji
 カダムモルゲンは 色々 手助けし船に 櫂や 他に載せ物を載せるのを
 berci jake bercile tuinemi ye jako temteken-me tou-ici iciki-ni xalingge-we
 助け 物を 手伝う。 全て 船を 装備して 荷物を

³⁰ ejige-du 家の東側に土間の台所がある。

³¹ Kadame ムハンダ。主人公 Muxade をこう呼んでいる。なぜ？

gia inin sikte-dun-du yaxu tou de bi-cin tuinemi du ti gia tomaki erde de bi-cini
 翌日の 夜までに 全て 並べた。 その翌日 早く
 ya gelengulu erde bude jefu-so buti erde te-rgi-le tui-nemi-du
 人々に 早く 飯を食べさせなさい。 私達 早く 起きて そして
 tadu de bi-cin tako takole gia inin de bi-cin temteken-du toku-ti
 そこにあるものを 片付け 次の日 船に 乗せ
 toku-tele kiauli de da-xa kerki kerki-le de bi-cin asikte Muxade moregen de
 乗せ 櫓を漕いで 水を切り進む。 若い ムハダ・モルゲン

=====

(7)alang degde bici-le

ai wurken-me jorci-mi ai sakarki Saxalin manme bi-cin jorici-mi jorici-mi ele ele-ba
 山を 指差し 黒い サハリン江を 指差し こちらの方へ
 ene-de temteken-duni de bi-cin ami-siki-du ba-le xodaci-mi xesu-mi ene-xen bi-cin
 行けと 船の上で 後方から 大声で 言い 謡う。

 (5)(謡)

xelilali xelila

Saxaliki nani manme-ni kerki-ni ai ba-tiki du ai den ba-tiki nemi ene
 サハリンの 江を 分けて よい場所へ よい場所へ 行き
 udau-xani dulexe-yiu dau-xani kolon
 渡って 行く 渡っていく。
 xeli nani xeli

ai nemi urken ba-le aiji ne wurken nemi seun-de bi-cini
 よい 山の よい 山の 精霊よ
 aiji nemi dordi-so nani ge
 よく聞いてください。
 xeli nai xeli

esi-xono (bi-cini)

ainen urkenene ainen ainen ainen manme ai ede-du
 よい 山 よい 江に ここで
 mini-wa orin ani ani-keci tui ujile-du
 私を 20 年位 養ったとき
 tui ne bu-nu-we bu-nu-we jefu-mi bu-nu-we titi-ne
 恵み (与えたもの) を食べ 恵みを 着て
 ai badu tui bi-ci yi
 よい場所であった。
 esi-xono ai ba-tiki mafe-rsele ai nemi
 今 よい場所へ 老人たち
 ai yoxon gulun-ni gese nemi xelbe-mi
 村の 人たち 一緒に 連れて
 aine Saxalke manme dau-re ene kolo ge
 サハリン 江を 渡り 行く。

xeli neni xeli

wurken ene-ji manme nemi ene-ji-mi de bi-cin
山を 越え 江を 渡っていく。
aiji ene isa-le isa-le de esi-du esi-nemi mini-nen
行く 着いたら 着いたら 今度は 私は
eme ene-kini aiji ne bi-xenen erindu ani-du eme ani emedan
行っても よい時節に 年に一度
emergini butu senkile-we tayou-mi ayilen ayi bucan-me
帰ってきて 私たちは 香を 焚き よい物を 供物を
bu-ci-mi butu-nemi dobu-mi eme kolon
捧げ 私たちは 祀ります。
xeni nani xali

esi-xono bi-cini ei a

xelilani xelila

munu-we esi-xono edini koken-ji munu-we aiji nemi xulude-kune-so
私達を 今 風もなく 私達を 安全に 行かせてください。
buti-nemi aiji nemi dulxi-ene
私達を 無事に 通してください。
aiji-nen dulxi-ene munu-we aiji-nemi Songali manme nemi erge-tiki
無事に 通り過ぎ 私達を 無事に ソンガリ江の 地まで
aiji nemi nuku-solo ge
無事に 送り届けてください。
xeli nani xali

(謡終)

=====

(8) alang degde bi-cini

asikte aji Kadamu de aijin morgen de bi-cin nale-be lasite-ni lasite-ni
若く 善良な ハダム モルゲンは 手を 振り 振り
ar³²ki-xen arki-xen gelengulun de xesu-xen ene bai ta-dule Muxade morgen
酒を撒き祈り 人たちに 命じる 「出発。」彼の地へ ムドリ・モルゲンは
cikin jule-ni ene-xen-du Cafen dedu-ji xuli ai gelengulun de be gulun daxale-mi
先頭を 行く。」 チフン・ダドと共に 行く 村人たち 人たちは 従い

mangme te dau ene-re bi-cin tui-nemi ene bi-cin ilan ba-keci bi-cin mangme bai
江を 渡って行く。 こうして 行くこと 3里ばかり 江には
edin de koke tepusin³³ de koke ba tadule de ba kiaule kam-jake temteken
風が なく、波も なく 彼の地へ 櫂をこぐ 色々な 船の
exe³⁴le de koke-ji nai eje bai konde koke bai eme aiji dau ene bi-cin dau-de
故障も なく 平安 無事で 進み 安全に 渡る。 渡り

³² arki-xen arki-xen 酒を指で弾き、四方に酒を撒いて祈る

³³ tepusin 波？

³⁴ nai eje bai konde koke bai

ta-tiki sulia-si sulia-si solu-jiki solu-xe solu-xe eim-de solikete sorfen
 そこから 西へ 西へ 西へ 西へ ゆく 西の方向へ 西へ
 sorfen ene-de silku-te xulu silktes xulu-mi de tadelude eme silkte xuli-mi
 西へ 進み 水上を 進み 水上を 進ませ さらに行き 水上を 進む。
 tuinemide ai Saxalin mangme jule-ki-leni ene de ba ai de
 そして サハリン 江を 南へ 行きのがよい。
 xacixong-me ei du jaka-mi torki-mi de ai xoni ulse ei imaxa-ji
 吊鍋を 物を 積み込み ある者は 肉や 魚で作った
 ai xulikte-we ai imaxa-olikute-me tau-le³⁵-de bi-cin tadule fukia-cimi fukia-cile
 干し肉や 干し魚 を取り出し そこに あぶって あぶって
 jefu-mi jefu-le gelengulun aci-mi de tadulede jefu-xeni bi-cin jefu-mi odi
 食べた。 人たちは 準備を終え そこで 食べた 食べ 終えると
 Kadamu morgen xesu-sie ta-dule solu gulune tadele de ai dorbu-du
 カダム・モルゲン は 言う 「あの地へ 西へ 向かおう」 夜
 tai jap-kere-duni tuki solu bi-cin yakon-de yakon-de³⁶le kiale-ni kiale-inide kiale-dele
 岸にそって 遡り西へ 船を曳きたまたは 船を漕ぐ
 solu-xe solu-xe solu-xei bi-cin ai eme inin be siun degede-mi eme dalekan³⁷-du
 西へ 西へ 西へ 行く 一日進み 太陽が昇り 一竿高になったとき
 da-xan bi-cin ta-dule de ei susu suixai sagdi yoxon-du jalun-du kam-jake
 到着した。そこは 蓬が茂り 大きな村があり いっぱい 色色な物
 yaxo bi-cin ako-du icikini ba tuinemi du ei a susu suixa-ni eme nai jalundu
 全てがある。 岸を 見ると そこは 茂る 蓬が 人の丈位 一杯茂る。
 tadu gelengulun de ako-re bi-cin suku jafu-le suke jafu-le xonile de
 そこに 人たちは 岸に付けた。 斧を持つものは 斧を持ち ある者は
 xadifen jafu-le xadifen jafu-le e-du saciku saciku jafu-xen sacikule jafu-le
 鎌を持つものは 鎌を持ち 鋤を持つものは 鋤を持ち
 tadu cou jafu-xen cou jafu-le tadumde enemdu susu suixa-we de xadi-mi
 あそこに 鋤を持つものは鋤と持ち あちらこちら 生い茂る蓬を 刈り
 de xadi-re se suku-du capci-mi capci-le buti tadu ai aide bi-cini
 刈り 斧で 切り 刻み その場所を きれいにした。
 cou-ji fete-ni fetele-ni de bi-cindu ai jo-tokon-duni icikini ai jo jake-we souji-mi³⁸
 鋤で 泥をこねて 家を色々見ると 良い家と 一部は 壊れて
 da-xan bi-cin dame juan-ge jo juan-ge bau-de bi-cini ta-dulude jake-me tako-mi
 しまっている。ただ 10戸の家 10個所を そこに 全て 整え
 odi de eme jo eme jo delde bi-cin jog-dule de xuli bi-ci teni-xe bi-ci sinsie³⁹ bi-sini
 終えて 一戸一戸 分けた。 家に 移り 休む。 夜
 afene-du ei eme jo eme jo ba xaling-we imaxa xaling-we xuliekte xuliekte edu
 眠るとき 一戸一戸 荷物を 魚の荷物を 干し肉 干し肉を
 taktu tau-re bi-cin julin bicin julen burgin-du taduledu yako-na bade
 倉庫に 収めた。 いっぱいになった いっぱいになったとき そこで 皆が
 nade-ti tou-nide xacixon-we tau-ni de yuke tou-ni de bi-cin de ulu-mi de jefu-xe bi-cin
 地面に 火を燃やし 吊鍋を 火に掛け 鍋を 火に掛け 煮て 食べた。

³⁵ tao-le 掏 (漢語) 取り出す。

³⁶ yakon 船を曳く？

³⁷ dalekan ？

³⁸ souji-mi

³⁹ sinsie : siksarin 夜

jafu-mi odi-mi tadumu Kadame morge de tadu xesu-sini buti ya tomaki inin ya
 食べ終わり そこに カダム・モルゲンは そこで 話をした「我らは 明日
 buti ai uluken-du ene buti aiji buyun gelti-mai buyun jafu-le
 我らは 山に 行き 我らは うまく 獣を 探し 獣を 捕まえ
 gelengulun-me aiji-ke jefule ei jeme-ti gulun jefule yimaxa-we wa-keci
 人々に 沢山 食べさせ 腹のすいた人たちに 食べさせ、魚を 捕る者は
 yimaxa-we wa-keci-le de mai tuinemi de bi-cini asikete ayi Kadame moregen de
 魚を 捕えたい。」 そして 若い カダム・モルゲンは
 jefu-mi odi-mi gia ini-de tomake de bai te-me bi-cin bai gelengulun nade embadu
 食べ終わると 翌日の 朝 起きて 人々に 一緒に
 sauli xodule-mi xodaleti xesu-mi ene-xe bi-cin gelengulun de yafuxen
 呼び 大声で 命じ こさせた。 人々が 庭に
 yisi-xani tulu-jike bi-cin tadu jako teini tele suixa xolun-duni gugu-xe
 着き 外に 皆 休み 座る。 蓬は上に 高く伸びてい
 suixa-xolundu te-ini tadu de dordi tadu de Kadame mergen de bi-cin xodale-mi
 蓬の上で 座り そこで 聞く。 そこで カダム・モルゲンは 大声で
 gelengulun xodale-mi xodale-mi xesu-mi gel-xen bi-cin
 人々に 大声で 言い 謡う。

(6) (謡)

xelila xelilalexelila gexelei xelilaje

gelen xesu-mi einen gulun-men

人々を呼び 皆さん

mafa-rsele mama-rsele nemi aiji nemi dordiu-so

お爺さん お婆さん よく 聞いてください。

esi-xono bi-cini

butina ei inin ba-na-na mini-bai te-rgi-ni ai agedene-mi

私たち 今日 ここで 私と共に 座っていることが 嬉しい。

ei agedene-mi mini-we daxae-mi aiji-nemi bale eme gulu-xi so

大変 嬉しい。私に 従い よく ここへ やって来た。

xelilale xelila

e-duni bi-cini susule-mi suixa-nen eme-ni ai jo de koke kolo ge

ここでは 茫々と 蓬が茂り 一戸も よい家が ない。

xele

esi-xono xodi-xono

esilen aiji-nemi esi-nen ai-nemi susu suixa-we aiji tako-mi

今 きれいに 今 きれいに 蓬をきれいに始末し

aiji ni aiji-ne cou-le-mi emelen ai ai nei yoxon-leni dao-kune-mai

きれいに 整地し きれいな村に したい。

tuinemi buti de bicini aiji nemi gujuguli da-xan kolo

だから 我ら (の村) は 整い きれいに しよう。

xelilali xelila

ai inin bi-cin bixon-ni beri de luki nemi jafu-mi aine julu xuli ge
 今日 は 野に 弓 矢を 持って 行き
 ailen buyun-me giucin komake nikte-we ulke wakeci
 よい 獣を ノロ鹿 鹿 猪を 山で 狩る。
 (謡終)

[cassette tape 1A 終]

[cassette tape 1B 始]

=====

(9) alang degde bi-cin

ai Moxande morgen de bi-cin ei gelengulun-me xodaci-mi xodaci-mi xesu-mi ene-xen bi-cin
 モハンダモルゲン は 人々に 大声で 言い 謡った。

 (7) (謡)

xelila xelilalexila gexelei xelilaje xelilagalei

mafe-rsele nemi mama-rsele nemi ein duxa-xolcin xacin moko-da
 お爺さん お婆さん 同郷友人 多くの宗族長
 ain asikte gulun isikuliji gulun yako-na dordi-oso
 青年たち 子供たち 皆さん 聞きなさい
 xelilali xelilagali

esi-xono bi-cini

今

buti na ain ain ba-leni isa-mi de ai-nemi jutin dau-xan kolo
 私達は よい所へ 来て すでに 2 日目になった
 esi-xono bi-cini

buti aina yoxon-me aiji-nemi iliu-mi aiji-nemi tako-mi aiji aiji-nemi
 私達は この村を 好く 建てて よく 整え よく
 ei susu-le suixa-we ai aiji nemi xadi-re aiji nemi iliu-mai
 茫々と繁る 蓬を きれいに 刈り取り 好く 建てたい。
 buti-de bi-cini bixan-we esi xuli beri-ni luke-ni jafu-re
 私達は 狩に 行き 弓と 矢を 持ち
 ain kira-du bi-sin giucin komake-we furke gelte-mi ulken wa-mi
 この近くにいる ノロシカ 鹿を 走り 探す 山で殺して
 buti gelengulun aiji nemi jefu-mi aiji nemi aiji-nemi omi-re
 我々 皆 好く 食べ よく よく 飲み
 aiji nemi uile-mi yoxon-me tako-re kolon
 よく 働き 村を 修理しよう。
 tara-ni sira-mi ei-de bi-cin
 そして

asikte gulun-me bixan ene juan eme nio-we daxale-mi ene-so
 若年たちを 狩に連れて行く 10 人を 引き連れて 行く。

xenileni xelilagelei

ein eme nai de bi-cini eme usia-me eme usia-me kocika kocika-ren
一人一人は 1本の縄を 1本の縄を ぐるぐる巻いて
naini usia-me jafu-re xerbu-so
人は 縄を 握り 持っていけ。
giucin wa-ki giucin-me sira-mi mafukewe wa-ki mafuke-we
ノロシカを殺し ノロシカを そして 熊を狩り 熊を
toki-mi komake-we wa-ki komake-we gaji-xuli-so aya kolon
担ぎ 鹿を狩り 鹿を 抱えてかえる。
xelila xelilalexelila

tarani sira-mi

そして

jog-du bi-si gulun susule suixa-we aiji-nemi tako-re
家に いる 人は 茫々と繁る 蓬を 好く 刈り取り
cou-ji aiji cou-mi tako-mi aiji-so ge xeli
鋤で よく 整地して 準備しなさい。
xelei xelila xelilanilexelila

usin asen aba-xa morin-me ixan de koka-kolo
百姓の妻や お父さん 馬や 牛もないものは
bei-jinen uili-mi bei-jinen uili-mi xuli-ki kusun-leso
体で 働き 体で 働きに 行き 力をだせ。
xeni laji imexelila

ein Qafen dedu asen-ni doldi-so

チャフェンダド妻よ 聞きなさい

esi-xona bi-cini

今

bu-xula inin tokon molin⁴⁰-jen aiji ne inen tokon molin-uni

我らは 正午に 正午に

aijin bixan xuli bu-xolu ai bale isi-xuli kolo

狩から 我ら 帰って来るから

asen nemi gulu-me aiji buluxa-me tua-kimi

女たちは 樺に 火をつけ

aijin xacixong-me gangu-we torki-mi

鍋を 鉤に つるし

aijinemi badun muke-we damji-lele muke-wo fuyiu-mi

水を 担いできて 水を 沸かし

ai mo-we lemi gade-mi edu aijinemi berci-nen xadi-roso

柴を 持って来て よく 手助けして 刈り取れ。

tara-ni sira-mi

そして

ulken-ene einemi asikte gulun doldi-uso mo-we ulken gade-mi

山へ行き 子供たちよ 聞きなさい 柴を 山から取ってきて

⁴⁰ inin tokon molin : 日の真中、午の刻

aijini berci-mi ei buta-mi buti mo-we berci-ro
 よく手伝い 私達の 柴刈を 手伝いなさい。
 xelila xelilelixelila

eskulu bugude-ro xulu-le bugude-xen kolo ge xelei
 すぐに 駆けて 行け 駆けて行け。
 xele laje le xelalelixeni xelei

(謡終)

=====

(10) alang degde bicin

ai Moxan Moxande mergen de bi-cini juan eme aya kam-jake ai asikte-gulun-du
 モハン モハンダ・モルゲン は 10 人 位の 若者に
 xesu-mi ba emedan use emedan usuke jafu-du ene mergen-me
 命じて 一人一人 皮紐 一人一人 紐を 持たせ 若者を
 daxa-re ene bi-cin xuaini beri luke jafe-xeni xuli xaisi suke-we gida-we
 従えていく。 ある者は 弓矢を 持って 行くか 斧を 槍を
 jafe-le bi-cin tuinedu ti-gulun jule-kile ulken-dule de kadi-sin sin ya-keci tuine e
 握っている。 そして 彼らは 南の 山の 麓へゆき 何でも
 ya-le-daki xulu-ki bale wa-re ulken-dulu nikte komake xai xuli de xai xuli wa-re
 何処へでも ゆき そこで狩り、山で 猪 鹿を 追い 追い
 bi-cin tune bi-cini ai juan mergen ei bui Muxande morgen wa-xa-meni wa-keci
 狩った。そして 10 人のモルゲンと モハンダ・モルゲンは 獲物を 狩り
 bart jukun jukun yakte-si gida-laxen gida-le-de ai gidale ei yoxon erdun-de
 突き刺し 倒し 槍で突き 槍で突き 槍で突き 村へ 急いで
 dulune-xen bi-cin iciki-ni jogdule isi-kuni-xele inin-tokon morci da-xan tui-nemi-du
 帰る。 そして 家に 着いたのは 正 午であった。 そして
 jog-dule isi-kuni Moxan ei Moxande mergen de asen de iciki-ni jog-du yuke-we torkiti
 家に 着いた モハンダ・モルゲンは 女たちを見ると 家で 大鍋を 火にかけ
 xacixon-de loko-xeti bege tou taio-xeti ba ta-dule de muku de bi-cin kusuke-ni
 吊鍋を つりさげ 火を 燃やし 水を くつくつ沸かし
 bi-cin nala-ji teli-mi teli-le kam-jakun bugde xai you-ni acu-keci-ni
 手と 座った姿勢の 脚も使い 皮を剥ぐものは
 acu-keci-le be-re ulu ulu-le dele bi-cin ba tuinemi duxa-ti asen bi-cin ai yuke-duni
 皮を剥いで 煮るものは煮る。 そして 親戚の 女たちは 大鍋を
 demi ba-ji jaxalen bi-cin xacixon-de jaxalexan ta-dule ulu-bicin ai tondo-de ai
 塊を 沢山入れ 吊鍋にも 一杯いれ 煮た。 ずっと
 ta-du ulse ulu-ki aci-xen bi-cin tuinemi jakun-weni isikul-sa jakun-weni bai gese
 そこで 肉を 煮て 調理した。 8 個に 小さく 8 個に 一緒に
 ba mo jakin jakin-le dele-du arki-ni arki-le ba-du ta-du ya tuki-mi bi-cin tuki-mi-du
 盆 8 個に 分け 酒を並べ そこへ 並べた。 並べて
 Kademe-du ai gelegulun-me bai yaxe xodale-mi bai gulun te-le kebuke-ji touke⁴¹ le-mi
 カダムダは 人々 皆に 命じ 人々を 座らせ 地面に 跪かせた。
 bi-cin touke-le-mi Kademe de Kademe morgen de gelengulun xodaleci-mi ai ui-we ai
 跪かせ カダム カダム モルゲンは 人々に 命じ 天を仰ぎ

⁴¹ touke-le 磕头 (漢語) 額を地面につけ祈る

Kadame de xodaci-mi xodaci-mi bai ai ba-tiki de bi-cin toru-tiki toru-tiki me ba xesu-mi
カダムは 大声で 叫ぶ 天に向かい トロに トロに 言い
alu-xen bi-cin
叫ぶ。

(8) (謡)

xelilalixelila xelilen xelilala xeli lalixeli

esi-xolo bi-cini ai eye eme-xeti-ki ju inin da-xan
今 来てから 2日 経った。」
aiji gai inini-due aina juan morgen-me xelbe-mi
今日 10人のモルゲンを連れて狩りに行った。
esi-xolo sinadu jalun jalun
今 あなたに 沢山 沢山の獲物の
ai ulse-we ai bu-nui ai nen ai buyun-me meixele-mi
肉を 捧げます。 獣を 担いで帰り
aci-tele-mi (aci)-te-lele ulu-ni ulse yako-n ein ulse suktu
皮を剥ぎ 煮た 肉を すべて 肉を 味わい
suktu-ni-duni aine semecile suktu-ni
味わって 香りを 味わってください。
bana yako-la bake-so
天よ 全て 受け取ってください。
apka nemi yako-me bake-solo ge
天よ 全てを 受け取ってください。
xeli nanixeli

esi-xono bi-cini

ei ei ne munula gese nemi eme-xen saman de
私達 共に 来た シャーマンは
isikuli saman de bile sagdi de saman de bire kolon
小シャーマンもいる。 大シャーマンもいる。
ai nemi souli aiji nemi xelbe-ki aiji couji-le-xen⁴²
全て 招きますから 連れて 集まってください (湊集)。
jake-we bu-uni sokute-xeni sokute-nemi
供え物を あげますから よく味わい
aiji ne bake-we kune-ro
よく 受け取ってください。

nani xeli nanixelila ei

ハリラ

esi-xono bi-cini

bineni ai dedu-ni fujin Cafen dedu asen-me de dordi-ro
私の ダド 婦人 チャフエン・ダド 妻よ 聞いてください。

⁴² couji-le 湊集 (漢語)

xoden-ji ba-duni ai seun-mi yako-ne xudale-mi
すぐ ここに セウン 皆 呼び寄せ
senkelu-we xun-ni ulse soktu-ni
香を 嗅いで 肉を 味わい
xulu-ni yako-ne bake-kune-ro ge
来て すべてを 受け取らせてください。
xelinani xeli
esi-xono bi-cini

ei bi-xono nemi kam-sami-de xelbe-mi marxon bi-ren
私は 色々なものを 持ってきて 沢山ある。
jo-lani seun-me Mujange nemi mafa Mujange mama-le
家の セウン ムジアンガ老人 ムジアンガ婆
seun-sele gese eme-mi seun-sele sagdi aimi isikuli
セウンと一緒に 来て セウンは 大きく アイミは 小さい
yako-le yako-ni ai nemi baleni isi-kini
物を 供えた 場所に 来て
ai munu gulun ai ainemi wa-keci-xen yirkin ulse daru-mi
私達は 上手に 捕った 新しい 肉を 捧げます。
yako-we bake-so ge
すべてを 受け取ってください。
xelinani xele

esi-xono bi-cini

aiji jefule aiji nemi omi-so
よく食べ よく 飲んでください。
esi-xono (bi-cin)

tomaki inin bixan ai ba-tiki ene-ni kune-i kolo
明日は 山野に 行かせてください。
ei nemi kira-du bi-cineni gulun-me yako-ne
近くにいる 人たちを 皆
ai ba-le tako-mi gese ai yoxon-me ili-mi
ここに 集め 共に よい村を 建てる。
aini yoxon-me tako-le kolo ge
よい 村を 整える。
xeni xeni xele

ai-le-ni ene-ki-ni juan ba-le orin-ba gosin-ba na-ni dulani
そこへ 行くと 10里 20里 30里の地に住む
edu-duni ju-jo ta-duni ilan-jo xelbe-kini
ここの 2戸 あそこの 3戸 あるのを つれて来て
ai bardi-gulun-mi ai bale yako-ne eme-le
住む人たちを ここに 皆 連れて来て
gese nemi yimaxa-we wa-keci-le bixan-nemi xuli-sa
共に 魚を 捕り 狩をして

aiji bardi-uli de ukia aya ge
よく 生活できれば どんなによいことか。
xeli

muji-rin muji-ri tari-mi jefuku-we tari-mi jefu-mi
大麦を植え 耕して 食べ物を 耕し 食べ
jalen jalen jefu-mi bardi-kini ukia ai kolo ge
たらふく 食べ 生活する どんなによいことか。
xeli nanixeli

esi-xono bi-cini

tomaki nemi gulun-ji asen de bi-cin jog-doneni
明日まで 人たちと 女達と 家で
ai nemi ulse ulse-we ule-xe nemi ai arki-we aiji nemi omi-so
よく 肉を 肉を 煮て 酒を よく 飲もう。
aiji nemi jefu-mi ai susu su-xale tako-mi aiji o-so ge
よく 食べ あなた方を 集まり 楽しもう。
xeli nani xeni

(語終)

=====

(11) alang degde bicini

ta-du de bicin mergen de jali-mi od-ti bi-sin yaku seun couji-mi couji-mi jefu-i
そして モルゲン は 語り終えた 諸々の 霊が 集まり 食べに
jefu-le omi-le omi-le nemi tadule de bi-cin bei sau⁴³ xaxa-nemi sau-sen ikte-mi
食べ 飲みのにんだ。 人たちは 笑い ハハと 笑い 笑い
agede-mi bi-cin omi de bi-si diku bi-si tuinexe bi-cin sikseki-ba ene-kini ai
喜び 飲んだ。 そうする内に 日が暮れ
inin tokon morin-tiki jefu-mi de xuli yake sekseki-mi bai bia-cin niu-xeni bi-cin
正午から 食べ 続け 周囲全てが暗くなり 月が 出た。
tademu de xuani de bicini afeni-ni bedele-ji te-ini teine-le soktule afine kebuke-du
ある者は 眠り 胡坐で 座ったまま眠り酔って 寝て 地面に
afine afine-le esi ei Moxade mergen Cafen dedu xesu-sini bi esi tomaki ene
寝ている。 ムハダモルゲンは チャフェンダドに 言う 「私は 明日
da-xani ei kira-kira-ni bi-si gulun-we yake ei-ba sauli-ui de bi-sia ai jog-du aiji ai
出かけ 近くに 住む人たちを 皆ここへ 招くから 家にいる
gulun-me mo capci-kune-le ei so ai suixa-we xadi yako toko-mi aci-kunele de bicin
人にいい 木を切らせ 蓬を 刈り 全て 集め 準備させなさい。
xuan gulun-meni muke-we yao-kini silki-mi⁴⁴ mo-we capci-ni capci-le take-ti ei
ある者は 水を 汲み 洗らい 木を 切るものは切り 整える
temteken eiji yako-we yako-le aiji ede ui-si tate-le tate-le aiji coxole⁴⁵-mi ai jo aci-xon
船など 全て ここに 引き上げよく 修理し 家も修理せよ

⁴³ sau 笑(漢語)

⁴⁴ yao 揺(漢語) silki 洗(漢語) si+le 動詞化。

⁴⁵ coxole 湊合(漢語)+le の動詞化。間に合わせる。

de bicin tui xesu-mi gia inin de bicin Moxande merge de bicin o-mile odi-xen-du
と命じた。 次の日 ムハンダ・モルゲン は 準備を終えて
beri luki bai jefu-mi de bai jefu-xen de bi-cin ei jule-xe bi-cin ene bi-cin ei inin ene-xan
弓 矢を 握み 握み 南へ 出発した。 一日 歩き
tomaki ini ene-xe ta-du dute ai ju-jo de bi-ren ilan-jo de bi-ren juan-jo bi-ren
翌日も 歩いた。あそこに 2戸あり 3戸あり 10戸ある。
es ei me adi-jo-tiki tam jo tam adi jo-tiki tam jo togti-re togti-keci
数戸を さらに 1戸 さらに 数戸を さらに 1戸を 知っている。
orin-jo da-xasi naiya-xasi eme ju ilan taun da-xani tui du yake texala-mi ei balan-du
20戸になった。さらに 一 二 三百 になった。 皆 喜んで ここに
xuli bicin tuineni iciki-ni xuani jo-gulu-ni xe morin ixan xoni xuani-de bisi urgian
来た。そして 見ると ある家では 馬 牛 羊を、ある者は 豚
tioco xuani-ge xuani-bisi ge jo-gasika-ni jake bire tuinemi de be-cin taude
鶏を、ある者の 家禽を 色々持ってきた。そして そこに
yake de-kin eme jake-de duduxale-xeni tadu gulu-ene-xen bicin
全て 来て いろいろ そろっている。 ここへ やってきた。
tuinede ilancin ini da-xan bicin ei ilacin inin da-xan dende bicin ei Muxade mergen de
三日目に なった。 三日目に なった。 ムハダ・モルゲンは
bardi jog-duli isi-kini julun dui iciki-ni badi ai susu suixa de kene tako-le badi
住む家に 着くと 一面に 見えた 茂った蓬は 整理され 更に
kam-jake da-xan ai da-xan iciki-nia ei badu marxon da-xan angko-neni tada
色々な物が 準備できた。 見ると ここに 多くの 小屋が そこに、
angko-neni eme angko-neni ju ilan de bire duin sunja de bile omi-sini
小屋がある 1軒の小屋、 2軒 3軒ある。 4軒 5軒 小屋を 作って
tixale de bi-mi xoni-de e bisi giucin nase-jini xoni-de imaxa nase-jini de bicini
喜び ある者は ノロ鹿皮で屋根を ある者は 魚皮で(窓を) つくる。
ai anko de tuinami jake de jalan de bi-cin de iciki-nia marxon da-xani buyun badi tala
よい小屋がこのような 沢山 できた。 見渡すと 沢山の 皮の小屋が 更に
marxon tadude Kademe mergen de bicin ici-kini ai gulun xaidi aiji jefu-le aiji omi-kune
多い。そこで カダム・モルゲンは 考えた 人々に よく食べ よく飲まそう
da-keci⁴⁶ Muxande morgen de jusi⁴⁷ tim damde damde⁴⁸ esime olin edim asikte
と ムハンダモルゲンは 20人 選ぶ 20人の 若者
gulun balci-xenisi sonji-ki de asi bixan arbitin deji buyun-me ei jafe-kule tadu
たち 助っ人を 選び 荒野 平地 森 獣を 捕まえる そこで
gerte-xen bicin
さがすことになった。
esi geni-xei bi-cinde

esikute ei xiasia intokon morin-du dam da-xan Kadamu de ei orin e mergen-me de
(若い) 正午 に カダムと 20人のモルゲンは
ei kam-jake-me ei asikte gulun tura⁴⁹ -dun jake de jalan jalan be eme giucin-me
色々な獲物を取り 若者達は 網罟に物を 一杯 一人はノロシカを
meixele de bi-le jule eme komake-we tuki-mi de bile nikte badu xoni de gaske

⁴⁶ dakeci 方言 ayi

⁴⁷ jusi: ju ホジェン語の二、si 漢語の十

⁴⁸ damde damde 漢語の「挑」で選、担の意味あり

⁴⁹ tura 網罟

肩にかつぐ、 2人で 1頭の鹿を 持ち上げ、 猪を ある者は 鳥を
 aiji jake-we jafu-mi de jalen kam-jake-we isiu-xen bi-cin-ni ai culade isiu-ki-ni
 よい獲物を 捕り、 沢山 色々な物で 一杯になった。 川でも沢山捕れた。

tadu ei Muxande mergen de bicin buti ai xerbu-mai tadule tadule bi-ci Muxande
 ムハン・ダモルゲン は 「我ら もち帰ろう」 ムハンダ
 mergen de bi-cini bei meixeri eme juken-du em komake meixele-xeni bi-cin tadamu de
 モルゲンは 肩に 力一杯 鹿を 担いでいる。 そして
 juluba juluba begdene ene-re tuine xei bi-ciki ici-kini e yoxon-do julu sunja morin
 先へ 先へ 駆け 帰る。 そして 見ると 村から 5頭の馬
 sunja morin bai-xe emege-we gaji-mi gaji-ke de xeni gaji-ni gaji-le-xeni sunja molin ba
 5頭の馬の 背には 一人ずつ 乗せて いる 乗せてやって来た。 5頭の馬にのる
 sunja morgen begudene-le niu-xen bi-cin niu-de bicin xuaman de bi-cin molin-du
 5人のモルゲンは 駆けて 出てきた 出てきた。 彼らは 馬に
 ati-mi ati-le falen-du de bicin kebutu-du xaling-mi xalinge-le dem eme dulan-me
 載せた荷物を 地面に 降ろし 荷物を積んだ。 半分は
 mergen daxe-te eme dulan-me aci-mi meter-syen de ti-gulun de bicini meixelen de
 モルゲンの共が 半分は 積めないの 彼らが 肩に担ぎ
 gese ba ei kam-jake ai yoxon-dulu bai yaku dou-xeni bicin yaxo-xolu ba meixeleni
 皆 色々な物を 村まで 皆 運んだ。 全てを 担いで
 dou-xen erin bicin asen gelengulun de xacixon ke ei jake-me berki-mi ulu-xeni bicin
 着いた 時 女たちは 吊鍋を 物を 用意して 煮た。
 ulu-xeni-mi tademe de tuine-xanji ba gelengulun de bi-cini ici-kini ei molin tauci-xesi
 煮た。 そして 人々が集まっており、 見ると 馬を 数えて
 juan ge molin bile ici-kini ixan xasi em juan ge ixan dule gelengulun gaji-xani
 10頭いる。 見ると 牛も 10頭おり、 周りに 人々が 集る。
 tuinemde ulgina xoni jake bile tuinemi tatigu du acile bi-cini ai morgen de ai ulse
 そして 豚 羊 などがあることを知りこれは良いと思った。 モルゲンは 肉を
 eiten jake bai yai yake-nu ulu-ji yuke-ledu yake tuki-mi gelen-gulun de bi-cin
 よい 物を 全てを 煮るために鍋に入れた。ものをならべ 人々が
 tele-mi de bicin yaku tuki-odi-du jefu-xeni bi-cin falen-du arki omi-mi omi-le xuani
 座る。 全て 並べ終わると 食べ始めた。 地べたで 酒を 飲み、 ある者
 jefu-i jefule mafa-sele daki ei jafu-xeni Mujange eme mafe-sele ai ui Muxande
 食べていた。 老人も 食べる。 長老の 一人の 老人が ムハンダ・
 mergen ba kere-duni jafu-cin tokun-ni tokun-du Muxande mergen de te-dule de bi-cini
 モルゲンの側で 食べていた。 真ん中にムハンダ・モルゲンが 座っている。

=====
 (12) alang degde bi-cini

ei gelen-gulun de xodaci-mi xodaci-mi bei ai jefu-mi jefu-le eme aijin jefule eme
 人々は 大声でしゃべり 食べよく食べ よく食べ
 anjin omi-le bi-cin tadu omi-xi omi-xi de bicin Muxande mergen de gelen-gulun de bi-cin
 よく飲む。 そこで 飲んでいた ムハンダ・モルゲンは 人々に
 ikute-nemi ikte-ne icikici icikici bai bai xasu-mi ene-xen bi-cin
 笑い 見合い 言い謡う。

 (9) (謡)

xelilali xelila xelilen xelilage xeli lanixeli

esi-xono bi-cinia

ai yoxon ainen ainn gelen ba-du bardi-i gulun-men ainen bale
よい 村に 皆 ここに住む。 皆は よい所へ
eme-mi ainen bala urken xei kolo ge
来た。 ここには 山が ある。
xeli nani xele

esi-xono bi-cinia

bixono xesu-me aci-xeni bile
私が 言ったことは 正しかった。
gelenen mafal-sale gelengulun bicin xaxa de bi-cini
皆 老人 皆さん 男たち
asen gulun de bi-cini gese nemi belci-ni ai-nemi yoxon-me
女たち 共に 助け合いよい 村を
gese tako-mi gesen ili-mai ge
共に 整え 共に 建てよう。
xeli nanixeli

bixono de bi-cin ei gonin-dui xesu-mi bi-sine
私は 心に 言いたいことは
gelengulun tixaki-so tui bardile de tixale-sin da-kini
皆さんが 賛成して 暮らすことに 賛成したことが
tixala-si dakini tixalasi oni-mi uki aini xesu-lo nani ge
賛成したことが どんなに よいか 言いたい。
xeli xani xeli

esi-xono bicini ei

bixen-leni gulun ulukan gulun juan-ge-jo

狩りをする人 山に住む人 10戸
asi-nani eme-nemi gese bardi-kini uluxi-nen gulun
今 来て 共に 住むことが出来る人
asi-xono gosin jo xule-gumi uda-xan kolo ge
すでに 30戸 以上 になった。
xeli nanixeli

esi-xono bicini

ei tomaki inin asi-nemi jo-nemi angko-le aji-nemi
明日から すぐ 家を テントを 建てて
isa-xan gulu ainen dulani
来ている人を そこに住まわせる。
gosin nani asikute gulun-me ai jo-mo-ni ainen
30人の 若い人に 家を作る木を

aji-siki uluken-dule mange-mo xolole
東の 山で 柞木を 伐る。

ai ai mo-we nemi capcile **lulu**-ni julu-le ai neni
この木を 切り 引いてきて
molin ixan-ji usia-mi usia-solo ge
馬 牛で 牽いてこよう。
xeni nanixeli

jog-duni tukale-we **yoxoni**⁵⁰ soi-ni soi-le
家にいる者は 土と 泥を 混ぜる
yoxoni yoxo-sole ge
泥を練り 練る。
xeli nani

aiji angku-ni angku-le jola-we iliu-mai kolo ge
よい テントを建て 家を 建てよう
xeni nanixeli

ta-weni sira-kini
引き続いて
bi-xolo bi-cini esi xolo ainen juan ei asikute meren-me neni
私は いま 10人 若い モルゲンを
embadu ei takole-mi daxale-kini ulken-dule ene
一緒に 集めて 引き連れて 山へ 行き
ainen gesga-wa giucin-nemi ei nani komake-we
鳥を ノロ鹿を 鹿を
ulun-jake-le uluken wa-mi gelen-gulun-du aiji jefu-le
山の獲物を 山で 狩り 皆に よく食べさせ
aiji nemi o-mi-kune kolo ge
楽しみ 飲ませよう。
xeli naixele

budi dulani aci de anci u-da-xan kolo
私の言うこと 正しい、正しくないか (考えてください)
aiji-nemi xodun-nemi jefu-je ai-nemi ai-nemi
直ぐ 食べても うまい (果実)
arki-we aiji nen **angu**⁵¹-mi arki-ji angu-lemi ainen
酒を よく つくる 酒を つくるのによい (果実)
uluken gulun **usa**⁵²-jini ainen ulxi-mi usa-ji ne-le
山の人の 果実で (酒を) 作り、 その果実で (酒を) 作り
omi-mi jefu-mi aiji nemi ulxi-mai ge
飲み 食べることが できる。
xeli nani xeli

⁵⁰ yoxoni 泥 (漢語: 要和泥)

⁵¹ angu

⁵² usa: use 種子、どのような果実が不明

mafele-sele de bi-cini gelengulun ainen bi-sini
老人たち 皆さん 私が

xesu-xeni tixale de tixala-syen goni-duni bi-kini
話すことに いかどうか 思うことを
mi-kini xesu-so nai ge
私に 言ってください。
xeli nani xeli

(謡終)

=====

(13) alang degede bi-cini

ai Muxanda mergen de bicini ai xesu-mi ai jali-mi odi-ini gese bi-ci ei mafa-sele
ムハンダ モルゲン は 言い 歌い 終わり 共にいる 老人たちの
aya eme mafa ge de bi-cini tademe-dui ili-mi du ai Muxande mergen jorici-mi jorici-mi
一人の老人が そこに 立ち ムハンダ・モルゲンを指差し 指差し
xesu-mi gelxe-ren bi-cin
言う 歌う

(10)(謡)

xelilali xalila xelilani xelilaxe xeli nani xeli

Muxande mergen aiji nemi dordi-so
ムハンダ・モルゲン よく 聞いて
bi-xono bi-cini ba-leni xerci-ini ai gelenen-gulun-ki
私は ここへ きた。 皆は
gelen-gulun goni-mi kiki-nemi ba xesu-mi-mi-ci eme ge
皆は 心中 喜んでいると 言いながら 来た。
xeni nanixale

esi-xono bi-xono ainen ba-le xuli-mi
私は よい所へ きた。
goni-mi agdene-mi kolo gese-nemi bardi-re uki neni aya kolo ge
心中 喜んで ともに 住むことは どんなに よいことか。
xelini nanixeli

esi-xono bi-cini

Muxande mergen sini-neni xesu-xesi ai neni
ムハンダ・モルゲン 貴方が 言ったことは 正しかった。
bala nemi xuli-le jo-we naxan-me ilu-mi mo-golen capci-mi ei ba
ここへ 来て 家を オンドルを 建て 木を 切り
mo-we capci-mi ai nemi jo-naxan-we ilu-mi
木を 切り 家 オンドルを 建て
eineni aji badu nani aji-nen aji-nen ba jo jo kolo ge
ここは よい場所に よい場所 家になった。
xali lani xali xalila

bije-neni goni-mi u-dakimi xa Muxande mergen aiji neni badu
私は 思う だから ムハンダ・モルゲン このよい場所で
munu ajen da-mi aiji neni munu-we nani menji-nemi
我らのアジェンになり 私達を 導き 私たちは
sinji-neni aiji-neni ai bardi-u ukia ai e kolo ge
貴方と よく 暮らすことは どんなに よいか。
xeli nanixeli

munu-nemi ajen da-ro
我らのアジェンに なってください。
munu-we nen aiji sinji-nen daxa-leni
我らを 導けば 貴方に 従う。
xoni-nen xesu-kisi xoni-nen uilu-le xoni-nen bardi-xeni
誰とでも 語り 誰とでも 働き 誰とでも 住む
bardi-ro kolo ge
住む。
xeni nani-xeli

esi-xono bi-cini

ei ai neni mafe-sele bi-cini Muxande Mergen-neni odi-le-ki gi
老人は ムハンダ・モルゲンに 言い終えて
demede gelengulun-kisi xesu-len kolo
皆に 言う
mini-neni tui xesu-xei aci-nesi aci-sienen
私が言うことが 正しいか 正しくないか。
mafale-sele ainemi asikute gulun jo bardi-gulu gelengulu
老人たち 若者たち 家族の 皆
dordi-xe aiji xeso-ja
聞いて 賛成してください。
xeli nani xeli

(謡終)

[cassette tape 1B 終]

(う ギョウヒ・日本大学法学部)

Creating Transcripts of *Imakan*
— The 1982 Recording of *Imakan: Mudori Morgen* —

YU Xiaofei

Summary:

Recently I came into possession of eight cassette tapes of Hezen's epic *Imakan* as recorded in 1982. The title of the work is *Mudori Morgen* as told and sung by the famous *Imakan* singer Ge Desheng. I received the tapes from the family of Xiao Han (now deceased), one of the members of the team that researched Hezen folk culture. The quality of two of the sixteen recordings was such that I was not able to distinguish their content. I was, however, able to make a written transcript of the first cassette tape in the alphabetical characters that I first proposed in 2002. In the process of making this *Imakan* transcript I uncovered several fascinating points of interest. Here, finally, I have the opportunity to show the content of Hezen's epic *Imakan*.